

20240411 神奈川交運労協第2回幹事会

各産別から17名が集まり、交通政策・県内交通改善要求2024の取り組みについての集約と要求先の確認、スケジュールを確認しました。

菊本議長のあいさつにてスタート。

菊本議長は「見切り発車された『ライドシェア』の問題、2024問題としてメディアで騒がれている『トラックドライバーの労働時間の上限規制』など、環境が大きく変化している中、神奈川交運労協として問題点などの洗い出し、働く者の視点から提言し取り組む」とあいさつされました。



報告事項は20項目、出席者がそれぞれ報告され、各部会報告がされました。

承認事項は2項目、愛川町地域交通会議発足に伴う役員派遣について、河口（全自交）氏を推薦し承認されました。また、バス部会の視察学習の取り組みを承認しました。

協議事項については、交通政策・県内交通改善要求2024の取り組みについての集約日程。

今回は、対面にて実施したいことから、議員同伴で行うのか等含め、要求の仕方について次回幹事会にて議論したい。と提案され確認されました。

各産別からの報告がされ、意見交換がされました。

全自交より、ライドシェアの方向性や実施について説明され、当面の活動を確認し終了しました。



.....

タクシードライバーの賃金はさらに下がるのは確実、さらに人が入らない業界となり、ライドシェアの拡大が危惧される。悪巡回になりかねない。企業も業界を守るために何をすべきか？を考えることが必要だ。二種免許というプライドをどう守るのか？ 他人事ではない真剣に考えてほしい。